

スマートホン “MT151”

要 旨

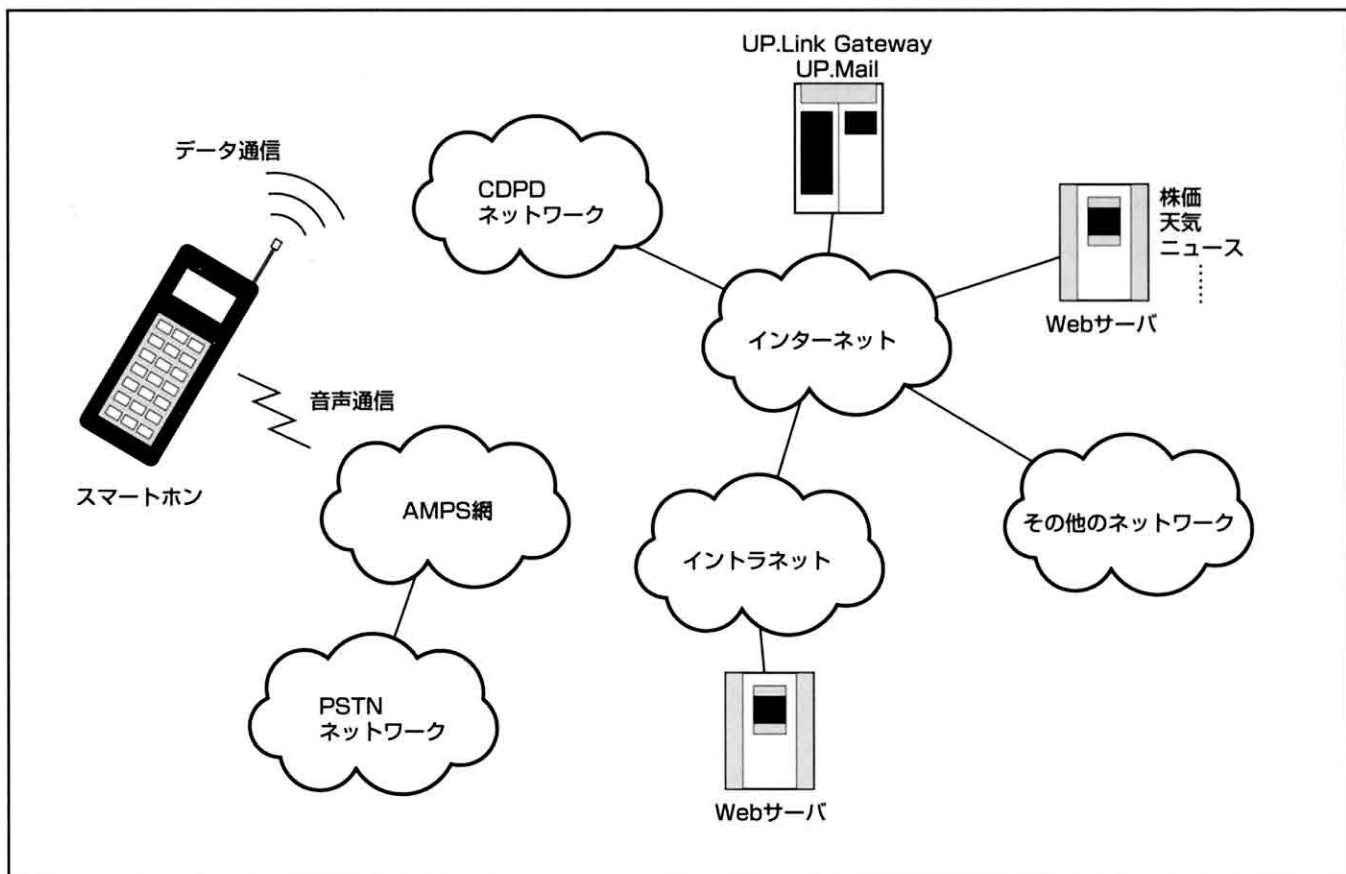
ここ数年で急激な勢いで普及したものとして、携帯電話とインターネットを挙げることに異論がある人は少ないであろう。どちらも、インフラの整備と前後して、その利便性、手軽さ、手ごろな価格が一般の市場に受け入れられて普及した。これら二つの機能を併せ持った“携帯できるインターネット”は、当然市場の大きな要求として存在しているが、端末の画面サイズと通信速度、通信費用等の問題のために、これらの市場要求に十分にこたえることができなかった。

今回開発したスマートホン“MT151”では、このような

市場要求にこたえるため、次の課題を解決することを目標として開発を進めた。

- (1) 手ごろな通信費でインターネットサービスを実現するための無線パケットデータ通信端末の開発
- (2) 従来の携帯電話の可搬性、使い勝手の良さを損なわないサイズでのインターネットアクセスの実現

ここでは、上記課題を解決するためのキー技術として開発したCDPD (Cellular Digital Packet Data) 技術、UP.Link技術について説明する。また、スマートホンで実際に利用できるサービスについても紹介する。



スマートホンのネットワークへの接続例

無線区間は高速かつ信頼性の高いCDPDインフラを利用して接続し、UP.Link技術によってインターネット上の各種データベースをアクセスする。一方、音声通話は従来のAMPS網に接続して行う。